

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-105360

(43) 公開日 平成10年(1998) 4月24日

(51) IntCl⁶

G 0 6 F 3/14

識別記号

3 4 0

3 7 0

F I

G 0 6 F 3/14

3 4 0 B

3 7 0 A

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平8-254095

(22) 出願日 平成8年(1996) 9月26日

(71) 出願人 000006105

株式会社明電舎

東京都品川区大崎2丁目1番17号

(72) 発明者 国広 裕二

東京都品川区大崎2丁目1番17号 株式会社

社明電舎内

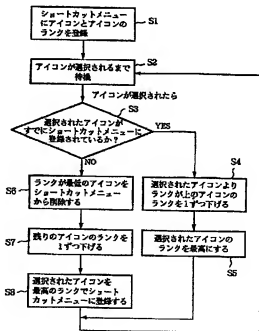
(74) 代理人 弁理士 志賀 富士寿 (外1名)

(54) 【発明の名称】 メニューの自動構成方法

(57) 【要約】

【課題】 操作が簡単にして使用頻度の高いアイコンの選択が容易なメニューの自動構成方法を提供する。

【解決手段】 計算機と人間とのインタフェースに、処理の対象物または処理そのものを示す操作指示部材であるアイコンA～Lからなる通常のメニュー11を形成するとともに、アイコンのうち使用頻度の高い選択されたアイコンからなるショートカットメニュー12を形成するメニューの構成方法において、ショートカットメニュー12にアイコンの使用頻度ランクを登録するステップ、および選択されたアイコンの使用頻度のランク付けを行うステップ、によって構成する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 計算機と人間とのインタフェースに、処理の対象物または処理のものを示す操作指令部材であるアイコンからなる通常のメニューを形成するとともに、前記アイコンのうち使用頻度の高い選択されたアイコンからなるショートカットメニューを形成するメニューの構成方法において、

前記ショートカットメニューに前記アイコンの使用頻度ランクを登録するステップ、および前記選択されたアイコンの使用頻度のランク付けを行うステップ、によって構成したことを特徴とするメニューの自動構成方法。

【請求項2】 前記使用頻度のランク付けを行うステップが、選択されたアイコンがすでにショートカットメニューに登録されているか否かを判断するステップと、選択されたアイコンが登録されておれば選択されたアイコンよりもランクが上のアイコンのランクを下げるステップ、および前記選択されたアイコンのランクを最高にするステップによって構成されていることを特徴とする、請求項1に記載のメニューの自動構成方法。

【請求項3】 前記使用頻度のランク付けを行うステップが、選択されたアイコンがすでにショートカットメニューに登録されているか否かを判断するステップと、選択されたアイコンが登録されていないければランクが最低のアイコンを前記ショートカットメニューから削除するステップと、残りのアイコンのランクを下げるステップ、および前記選択されたアイコンを最高のランクでショートカットメニューに登録するステップによって構成されていることを特徴とする請求項1又は2に記載のメニューの自動構成方法。

【請求項4】 前記使用頻度のランク付けを行うステップが、一定期間各アイコンが選択された回数をカウントするステップと、選択された回数により各アイコンのランクを設定するステップ、およびアイコンのランクによりショートカットメニューを再構築するステップによって構成されていることを特徴とする、請求項1に記載のメニューの自動構成方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、メニューの自動構成方法に係り、特にグラフィカルユーザインタフェース環境における機能選択メニューの形式に関する。

【0002】

【従来の技術】 通常GUI（グラフィカルユーザインタフェース）環境におけるメニューは各機能を起動するアイコンまたはボタンを羅列したものである。しかしこの場合、通常あまり使われない機能のアイコンと頻繁に使用するアイコンも同じ様に並んでいるので、冗長であり必要以上の領域を占有してしまう。また自分が現在起動しようとしている機能のアイコンをすぐに選択する事ができない。すなわち、図7は通常のメニュー11を示

し、このメニュー11はアイコン（又はボタン）A～Lによって構成されている。

【0003】 上述の問題を解決するために、現在では図8に示すような方法がとられている。図8において10はCRT、11はアイコン化されたメニュー、12はショートカットメニューである。図8に示すように、通常のメニューの他に、頻繁に使うと予測されるアイコンだけを登録しておいたメニューを別に作り、常時画面に表示しておくことにより、頻繁に使用するアイコンを即座に選択できるようにしておく。

【0004】 説明の便宜上、単にメニューと言うときは図7のタイプのメニューを示し、図8のタイプのメニューをショートカットメニューと呼ぶこととする。

【0005】 例え図7のアイコンA～Hはあまり使用しない場合、I～Lだけを登録したショートカットメニューを別に作り表示しておく。通常のメニューをアイコン化した場合でも、このショートカットメニューでI～Lのアイコンを選択できる。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】 現在の技術では、頻繁に使用するであろう機能を予測しておき、利用者自身であらかじめ設定しておく必要はない。その後あまり使わなくなったアイコンや、他に頻繁に使用したいアイコンが出てきたとき、設定をしないままではなない。したがって、操作が複雑で使用頻度の高いアイコンの選択が困難であった。

【0007】 本発明は上述の問題点に鑑みてなされたもので、その目的は操作が簡単にして使用頻度の高いアイコンの選択が容易なメニューの自動構成方法を提供することである。

【0008】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するために、本発明によるメニューの自動構成方法は、計算機と人間とのインタフェースに、処理の対象物または処理のものを示す操作指令部材であるアイコンからなる通常のメニューを形成するとともに、前記アイコンのうち使用頻度の高い選択されたアイコンからなるショートカットメニューを形成するメニューの構成方法において、前記ショートカットメニューに前記アイコンの使用頻度ランクを登録するステップ、および前記選択されたアイコンの使用頻度のランク付けを行うステップ、によって構成したことを特徴とする。

【0009】 また、前記使用頻度のランク付けを行うステップが、選択されたアイコンがすでにショートカットメニューに登録されているか否かを判断するステップと、選択されたアイコンが登録されておれば選択されたアイコンよりもランクが上のアイコンのランクを下げるステップ、および前記選択されたアイコンのランクを最高にするステップによって構成されていることを特徴とする。

【0010】さらに、前記使用頻度のランク付けを行うステップが、選択されたアイコンがすでにショートカットメニューに登録されているか否かを判断するステップと、選択されたアイコンが登録されていなければランクが最低のアイコンを前記ショートカットメニューから削除するステップと、残りのアイコンのランクを下げるステップ、および前記選択されたアイコンを最高のランクでショートカットメニューに登録するステップによって構成されていることを特徴とする。

【0011】さらにまた、前記使用頻度のランク付けを行うステップが、一定期間各アイコンが選択された回数をカウントするステップと、選択された回数により各アイコンのランクを設定するステップ、およびアイコンのランクによりショートカットメニューを再構築するステップによって構成されていることを特徴とする。

【0012】

【発明の実施の形態】以下に、本発明の実施の形態について、図1〜図6を参照しながら説明する。

【0013】図2と図3に示すように、始めに、利用者がショートカットメニュー12にアイコンI〜Lに登録しておき、図2に示すようにこれらのアイコンに頻繁に使うと予測される順にランク付けをする。ここでは、ランク1はアイコンJ、ランク2はアイコンI、ランク3はアイコンL、ランク4はアイコンKである。以後、メニュー12が何らかのアイコンが選択された場合、自動で以下の処理を行う。

【0014】第1の処理として、図3に示すように、そのアイコン例えばアイコンCがショートカットメニュー12に登録されていないアイコンであれば、ランクが最低のアイコンKをショートカットメニュー12から削除し、他のアイコンJ、I、Lのランクを1ずつ減らす。選択されたアイコンCをショートカットメニュー12に追加して、最高のランク1を与える。

【0015】第2の処理として、図4に示すように、選択されたアイコンがショートカットメニュー12に登録されているアイコン例えばアイコンLであれば、そのアイコンLに最高のランク1を与え、今までそのアイコンよりも上位にランク付けされていたアイコンJ、I、Kのランクを1ずつ減らす。

【0016】上記第1と第2の処理を繰り返すことにより、使用されないアイコンはショートカットメニューから削除され、よく使用されるアイコンがショートカットメニューに残ることとなる。

【0017】上述の方法は、コンピュータ等によって、図1に示すフローで実行される。

【0018】図1に示すように、ステップS1でショートカットメニューにアイコンとアイコンのランクを登録し、ステップS2に進みアイコンが選択されるまで期待する。アイコンが選択されたらステップS3に進み、選択されたアイコンがすでにショートカットメニューに登録

されているか否かを判断する。登録されていればステップS4に進み、選択されたアイコンよりもランクが上のアイコンのランクを1ずつ下げる。これによりステップS5で選択されたアイコンのランクを最高にして、ステップS2に戻る。

【0019】ステップS3で登録されていなければステップS6に進み、ランクが最低のアイコンをショートカットメニューから削除する。その後ステップS7に進み、残りのアイコンのランクを1ずつ下げる。1ずつ下げた後にステップS8に進み、選択されたアイコンを最高のランクでショートカットメニューに登録してステップS3に戻る。

【0020】以上により、使用されないアイコンが削除され、最近使用されたアイコンがショートカットメニューに残るので、最近よく使用するアイコンが選択しやすくなる。

【0021】図5と図6は本発明の第2の実施の形態を示すもので、前述のように、始めに、利用者がショートカットメニューにアイコンを登録しておき、そのアイコンに頻繁に使うと予測される順にランク付けをする。以後自動で以下の第3の処理と第4の処理を行う。

【0022】第3の処理として、図6に示すように、どのアイコンが何回選択されたかを一定期間カウントする。

【0023】第4の処理として、一定期間が過ぎたら、カウント回数が多い順にランク付けをして、ショートカットメニューに追加する。新たに追加されるアイコンの数だけ、ランクの低かったアイコン順にショートカットメニューから削除する。

【0024】第3と第4の処理を繰り返すことにより、使用される頻度の高いアイコンがショートカットメニューに登録されることとなる。

【0025】すなわち、図5に示すように、ステップS9でショートカットメニューにアイコンとアイコンのランクを登録する。次にステップS10で一定期間、各アイコンが選択された回数をカウントして、ステップS11に進み、選択された回数により各アイコンのランクを設定する。その後、ステップS12で、アイコンのランクにより、ショートカットメニューを再構成して、ステップS10に戻る。

【0026】かくして、アイコンを選択する回数により、ショートカットメニューを自動的に構成し直すことにより、使用頻度の高いアイコンがショートカットメニューに残り、使用頻度の高いアイコンほどより選択しやすくなる。

【0027】

【発明の効果】本発明は上述の如くであって、ショートカットメニューにアイコンの使用頻度ランクを登録するとともに、選択されたアイコンの使用頻度のランク付けを行うものであるから、アイコンの選択に連動して、自

動的にショートカットメニューの構成が変わるので、操作が簡単にして使用頻度の高いアイコンの選択が容易なメニューの自動構成方法を提供する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明によるメニューの自動構成方法による処理フロー。

【図2】ショートカットメニューとアイコンのリンク付けの説明図。

【図3】ショートカットメニューとアイコンのリンク付けの説明図。

【図4】ショートカットメニューとアイコンのリンク付

けの説明図。

【図5】本発明によるメニューの自動構成方法による処理フロー。

【図6】ショートカットメニューとアイコンのリンク付けの説明図。

【図7】通常のメニューの構成図。

【図8】従来のメニューの自動構成方法を示す説明図。

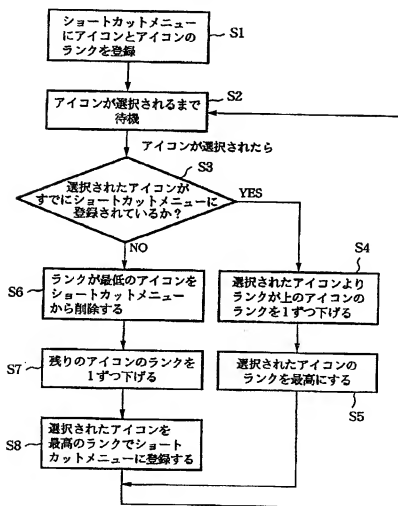
【符号の説明】

1 1…メニュー

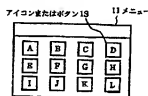
10 12…ショートカットメニュー

A～L…アイコン

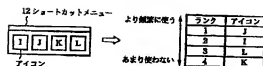
【図1】



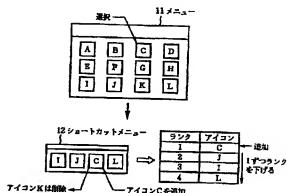
【図7】



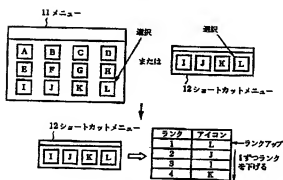
【図2】



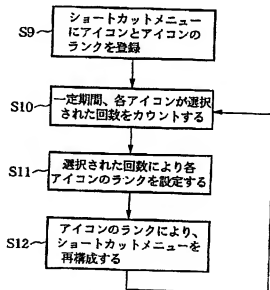
【図3】



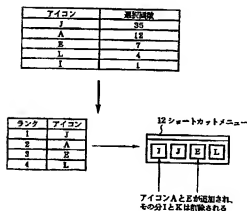
【図4】



【図5】



【図6】



【図8】

